令和２年度第８回 地域連携推進機構運営会議
議事要旨

日　時：令和２年９月１８日（金）　１４：００～１４：４５
場　所：第一会議室
出席者：牛窪 潔（機構長）、竹村 明洋（副機構長）、背戸 博史（地域共創企画室）、柴田 聡史（地域共創企画室 准教授）、小島 肇（地域共創企画室 特命准教授）、島袋 亮道（地域共創企画室 特命准教授）、満尾 俊一（総合企画戦略部長）、仲里 隆司（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者：畑中 寛（地域共創企画室 特命准教授）
陪席者：崎山 英樹（課長代理）、金城 まなみ（企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）

※審議に先立ち、７月１４日開催の第４回、７月１７日開催の第５回、第６回（メール会議）及び第７回（メール会議）の運営会議の議事要旨案について確認があり、了承された。

＜審議事項＞
議長から、次の４件の事項について審議を行う旨提案があり、説明の上、審議を行った。

１．令和２年度離島 ICT 実証実験事業について
崎山課長代理から、資料（審議１）に基づき、令和２年度離島 ICT 実証実験事業の事業計画及び予算案について説明があった。
引き続き、背戸地域共創企画室長から、補助事業の背景として、子どもがいる家庭の経済的負担も追加記載すること、また、今年度は恒常的に活用できる機器を附属中学校等に設置し、子どもだけではなく教員の研修にも活用してきたい旨の補足説明があった。
審議の結果、提案のとおり、了承された。

２．令和２年度プロジェクトシート８月確認について
崎山課長代理から、資料（審議２）に基づき、説明があった。
審議の結果、提案のとおり、了承された。

なお、委員から、今年度前半については、当機構の取組が社会人を対象にしているために、コロナ禍で実施できないことも多かったが、一方、オンラインを用いることによって発信先を広げられるようになったと考え、今後の取組を検討していきたい旨の発言があった。

３．地域連携推進機構が実施する公開講座について
背戸地域共創企画室長から資料（審議３）に基づき、説明があった。
審議の結果、提案のとおり、了承された。

４．第４回、第５回未来共創フォーラムについて
　牛窪機構長から、資料（審議４）に基づき、第４回（１０月１０日開催）及び第５回（１１月７日開催）の未来共創フォーラムについて説明があった。

　平敷監事から、首里城再興学術ネットワークシンポジウムの活動と国や県の首里城復元とどのように関りがあるか質問があり、ネットワークを担当する富永特命教授から、沖縄県が掲げる琉球文化のルネサンス的な方針のとおり、単純な復元だけではなく、息長く学術的な貢献ができるような活動としたい旨の発言があった。

　審議の結果、提案のとおり、了承された。

＜報告事項＞

１．令和２年度地域連携推進機構予算執行状況について
　仲里課長から、資料（報告１）に基づき、報告があった。

２．研究企画室・地域共創企画室合同会議について
　牛窪理事から、資料（報告１）に基づき、９月２３日に開催する合同会議の内容について説明があった。

３．経営協議会への新型コロナウイルス感染症への対応等の報告について
　仲里課長から、資料（報告３）に基づき、報告があった。